

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第39号 2006年 8月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 夏休み特別観察会のお知らせ

夏休み期間中(7月23日~8月27日)は毎日曜日午前10時半と午後1時よりの2回、1~2時間の水源林をご案内する観察会を、かながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加ご希望の方は、上記時刻までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

夏

緑

水

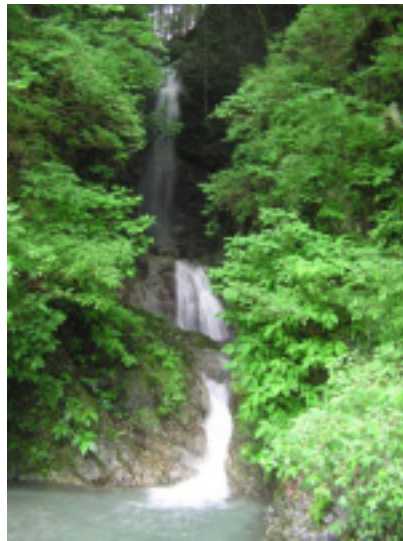
滝



寄沢は鍋割山(1273m)に端を発する急峻な沢でいくつもの美しい滝を懸けています。

いいはしの大滝

寄沢水系で最大の滝で、本沢の中ほどの深い森に囲まれ、3段45メートルの高さから豊富な水を落しています。



滝郷の滝

寄沢の表看板の有名な滝です。滝郷沢が桧岳から集めた水を高さ17メートルで本沢に落しています。滝壺にはいつも冷気が立ちこめ、涼を求めて多くの人を訪れています。

溪流の岩壁にはイワタバコが花を咲かせています。



カワゲラだ!

8月6日、かながわ森林づくり友の会による「こどもやどりき水源林体験」が催されました。真夏の炎天下、寄沢の水辺で水生生物の観察に子供達は大はしゃぎでした。

土砂流出防備保安林

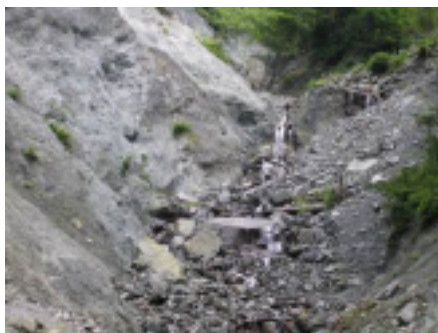
1923年の関東大震災では、寄地区も丹沢の他の地区と同様に、大規模な山崩れに見舞われました。その後治山治水の努力を積み重ねた結果、現在のような美しい山並みを回復することが出来ました。寄地区は「水源涵養保安林」と共に「土砂流出防備保安林」に指定され、整備が続けられています。寄沢の急流は今でも一旦雨が降ると清流は一変して激しい濁流に変わります。まだまだ治山治水に手を抜くことは出来ません。



降雨時の寄沢上部。茶色の濁流が渦巻きます。



激流に洗われる寄大橋下の大堰堤。上段は昭和15年生まれの石積みで、まだまだ現役です。



崩落が続く脆い凝灰岩の枝沢。



石積みの堰堤。往時の匠の技です。



間伐材を型枠に利用した最近の堰堤



松沢知事が寄水源の森を視察

7月26日、移動知事室が寄で開かれ、松沢県知事が来訪されました。知事は、松田町長や県森林部、森林インストラクターの会などから説明を受けながら、Bコースを歩かれました。
(写真撮影 伏尾真守)



今月のトピックス

- ・ タマアジサイ

溪流の両岸を彩るタマアジサイが開花し始めました。花期は長く9月まで楽しめます。



丸い大きなつぼみは指で触るとポンと開くことがあります。

来月の見所など

豊穰の秋です。やどりきで目立つ赤い実は、テンナンショウ、トチバニンジン、ウワミズザクラ、サンショウ、ノイバラ等々。